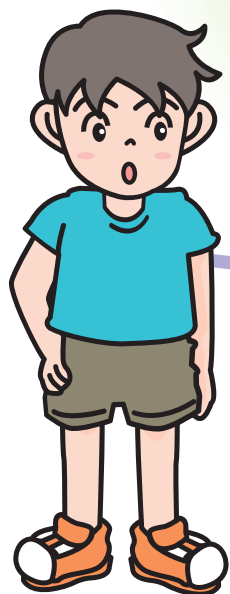


ちばの水道



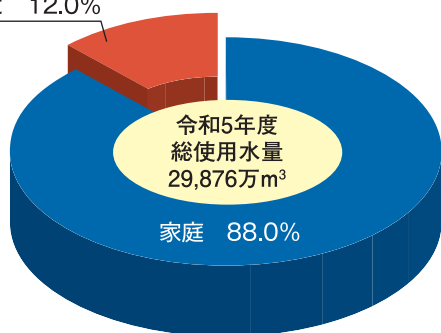


県営水道のあらまし

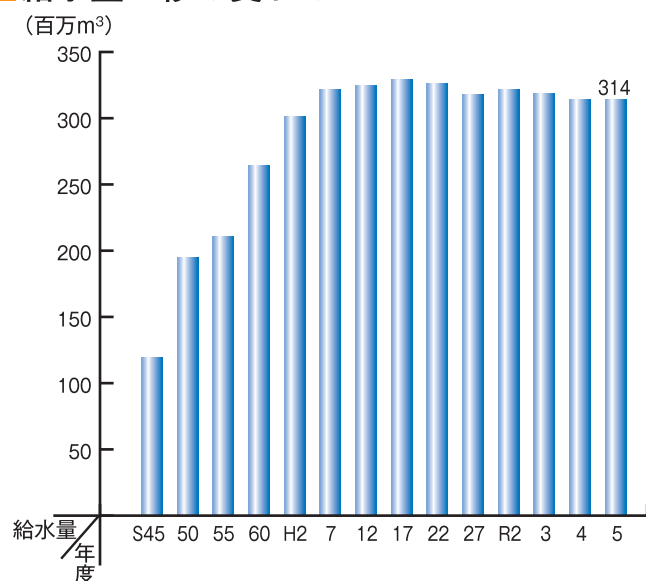
県営水道は、昭和の初めから工事を行い、昭和11年(1936年)に給水を開始しました。その後、人口が増え、くらしが変わるにつれて、使われる水道水の量もどんどん増えていきました。

■ 水道水の使われ方

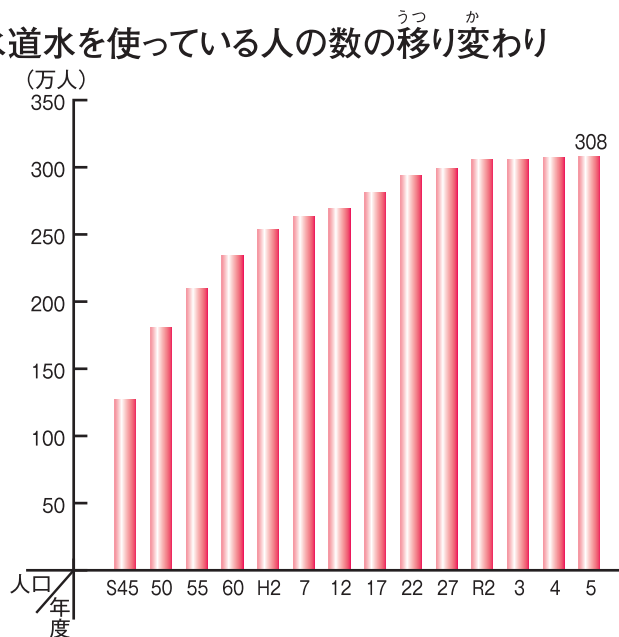
デパート・飲食店
学校・会社など 12.0%



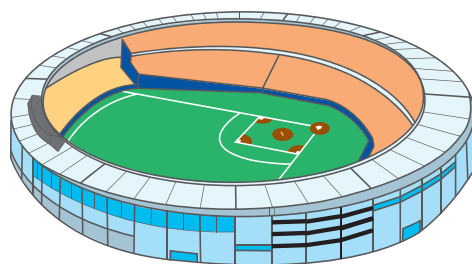
■ 給水量の移り変わり



■ 水道水を使っている人の数の移り変わり



1年間に使われた水道水の量は
ZOZOマリンスタジアムの約300杯分になります。



「水道水」と「ボトル水」の値段を比べると？

普段使っている水道水の値段はいくらか？
水道水の値段をしらべてみたよ。県営水道の水道水は、1,000Lあたり「約200円」なんだって。
ボトル水1本(500mL)の値段が「100円」だとすると、水道水なら約1,000本分(500L)使えるんだ！

100円でボトル1,000本分の水道水が使えるんだね。



ボトル水500mL



水道水約500L



水道水の安全管理

県営水道では、みなさんに安全でおいしい水道水を飲んでいただけるよう、水源から蛇口まで、計画的にきめ細かな水質管理を行っています。

水源

河川や湖沼の水質を、定期的に調査しています。また、水源に異常がないか確認するため、水質パトロール車が巡回しています。



水質パトロール車

近くの採水地点の水道水を検査しています。また、公園などに設置した水質自動監視装置で、残留塩素の濃度などを常に監視しています。



蛇口での検査

水質検査の信頼性

水質検査を行う水質センターは、水質検査の品質管理と技術力を保証する日本水道協会の「水道GLP」の認定を受けています。

浄水場

河川や湖沼から取り入れた水が浄水になるまで、水質計器で常に監視しています。また、浄水処理のそれぞれの工程でも検査をして、国の定める水質基準に適合した安全な水道水をつくっています。

蛇口

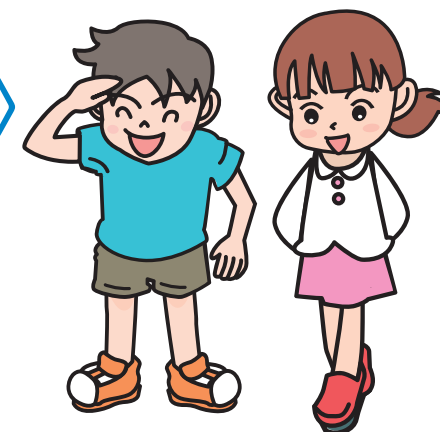
水道管を通して蛇口まで届けられる水道水の安全性を調べるため、みなさんの家の



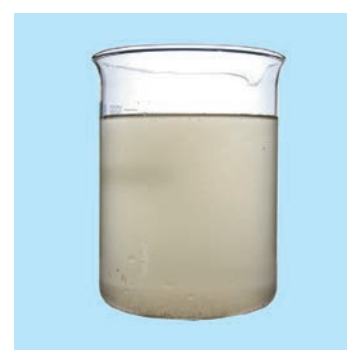
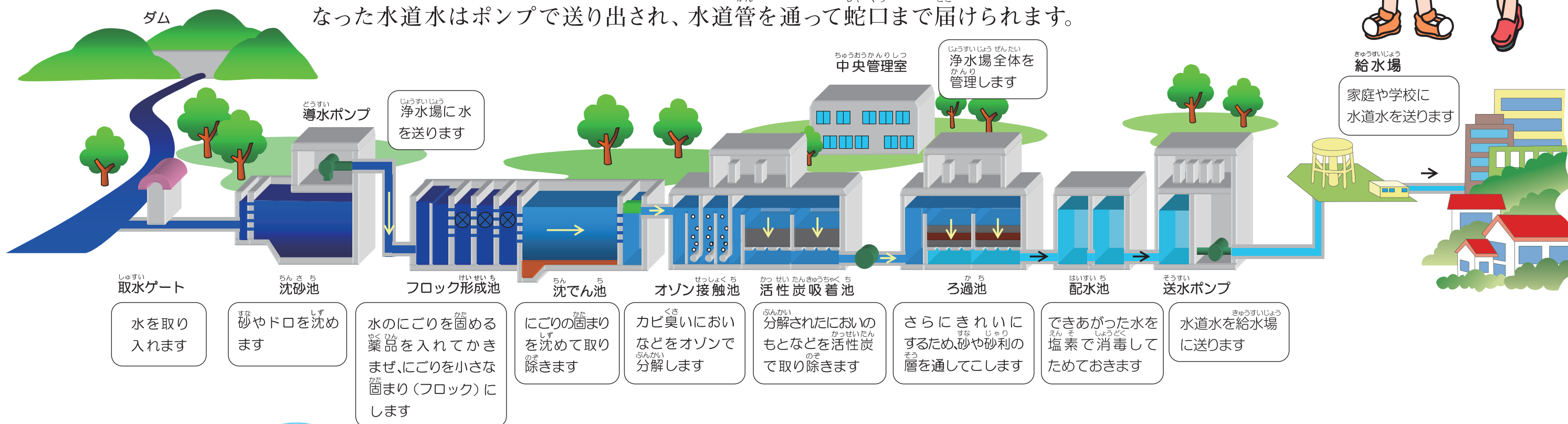
GLP認定証



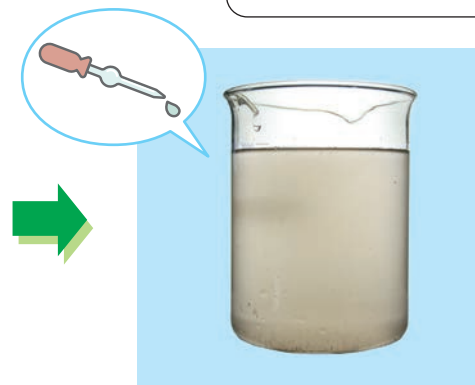
安全な水道水ができるまで〈浄水場のしくみ〉



河川や湖沼から取り入れた水は、よごれていてそのままでは飲むことができません。
浄水場は、安心して飲めるきれいな水道水をつくる工場です。ここで、きれいになった水道水はポンプで送り出され、水道管を通して蛇口まで届けられます。



河川などの水



フロク形成池で水のにごりを固める薬品を入れる



水のにごりが小さな固まり(フロク)になる



沈でん池ではにごりの固まり(フロク)を沈めて取り除く



ろ過池の砂でこす



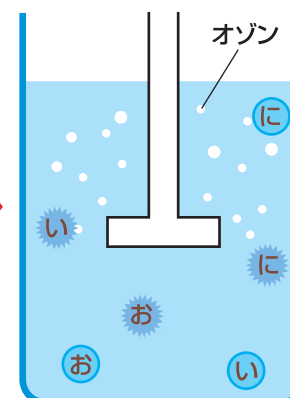
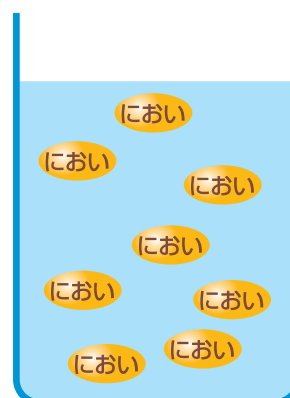
配水池の水

? 高度浄水処理とは

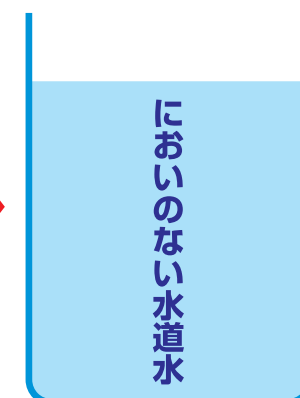
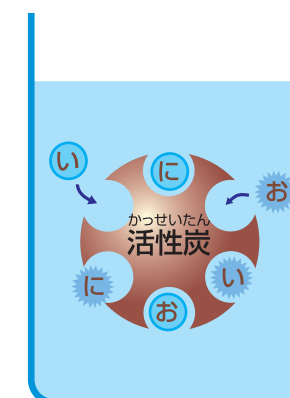
よごれのひどい河川や湖沼の水から、カビ臭いなどを取り除く処理です。



においのある水にオゾンを通すと、においのもとが分解されます。



オゾンで分解されたにおいのもと、活性炭にくっついて、取り除かれます。



みなさんの家の水道水は、どこから来て どこでつくられているか 知っているかな？



千葉県営水道
マスコットキャラクター
ポタリちゃん



千葉県営水道のホームページはこちら

<https://www.pref.chiba.lg.jp/suidou/index.html>

千葉県営水道

検索

